

防災学習車の運用についてのご案内

はじめに

いつ、大分市で発生するか分からない大規模な自然災害の被害を、最小限に抑えるためには「身近な人たちによる助け合い」が欠かせません。

日ごろから、お住まいの地域で、有事に備えた話し合いや自主防災訓練を行うことが大切です。

このたび、大分市消防団では、地域で行われる様々な防災訓練の際に活用できる資機材を搭載した「防災学習車」を、お住まいの地域の消防団員が用いて無料で使用することができる取組みを開始しますので、より災害に強い地域を目指して制度の活用をお願いします。

使用想定 自主防災訓練、学校や専修学校での訓練、事業所の訓練など

※大分市内であることを条件とさせていただきます

訓練の一例

- 燃焼装置と水消火器を用いた初期消火訓練
- 煙体験テントを用いた避難訓練
- 天ぷら油加熱実験装置を用いた体験学習
- プロジェクターに映像を投影しての研修
- AED 取扱い訓練

使用の流れ

1. 予約確認

消防局総務課（消防団担当班）に連絡（Tel 532-2188 mail shobosoumu2@city.oita.oita.jp）

※同日の訓練重複を避けるため、申請書作成の事前に仮予約をしていただくものです。

2. 申請書作成

- 申請者は問いません（消防団員でも可）が、様式に沿って連絡担当者や安全確認者の選任をお願いします。
- 必ず、管轄の消防団員（不明な場合は消防局総務課へ問い合わせてください）と打ち合わせを行ってください。
- 提出は、訓練実施の1年前から10日前までの間に消防局総務課または各消防署まで。
- 提出は1部で構いません。（承認可否を記した写しの返送をもって確定とします）

3. 注意事項

- 車両の運行と操作、資機材の設置や操作は消防団員のみが行えることとしています。
- 資機材を使用する際は、必ず安全確認者と連絡担当者を1名以上置いてください。
- 悪天候時は安全確保と資機材故障の観点から使用を中止するようお願いします。
- 必ず、「大分市消防団防災学習・災害活動車等運用要綱」を一読のうえ申請をお願いします。



←ホームページはこちら

【参考1】 保有物品数等

品名	規格	数量	品名	規格	数量
防災学習車	トヨタハイエース	1台	ホワイトボード	マグネット式	1個
初期消火体験装置	LPガス使用	1式	携帯拡声器	—	2個
天ぷら油火災実験装置	住宅用火災警報器付	1式	折り畳みテーブル	アルミ製 防災シート付	1式
訓練用水消火器	水3リットル用	10本	DVDソフト	火災予防啓発用ソフト	2本
消火訓練用標的	約800×555mm	3個	ノートパソコン	—	1台
エアコンプレッサー	設定圧力 0.7Mpa 以上	1式	シアタープロジェクター	DVD プレイヤー内臓 80 インチスクリーン付	1式
煙体験ハウス	組立式 スモークマシーン	1式	AED トレーナーセット	AED トレーナー 簡易型模擬人体	2式
発動発電機	900W 程度	1台	救護マット	90 cm×200 cm	2個
コードリール	—	1個	救急毛布	—	2枚

【参考2】 車両諸元

区分	規格等
車種	トヨタ ハイエース (ガソリン)
駆動方式	四輪駆動 (フルタイム)
変速機	オートマチックトランスミッション
寸法	全長 5,380 mm 全幅 1,880 mm 全高 2,285 mm 最低地上高 185 mm、ホイールベース 3,110 mm
乗車定員	6名

消防団防災学習・災害活動車両の概要

消防団防災学習・災害活動車両は、消防団を中核とした地域の総合的な防災力の充実強化を図ることを目的に、平時においては地域住民や事業所等に対する防災学習や防災指導に活用し、災害時には緊急車両として消火活動や資機材等の搬送に活用できるよう新たに開発したものです。

車両は、トヨタハイエースのワンボックス型ハイルーフで、四輪駆動、オートマチックトランスミッションを基本とし、車両後部デッキに、防災学習用資機材や災害活動用資機材を収納することができ、用途に応じて積み替えることが可能です。また、資機材の積み降ろしを容易にするため、車両後部に電動パワーリフト（最大積載荷重300kg）を搭載しました。



代表的な装備品							
	消火訓練機器	油火災実験装置	煙体験ハウス	AED トレーナーセット	プロジェクター 大型スクリーン	軽可搬ポンプ	折畳はしご
防災学習用資機材：訓練用水消火器、標的、救護マット、救急毛布、三角巾、拡声器、ノートパソコン、折り畳みテーブル 災害活動用資機材：簡易水槽、消火器、担架、レスキューキット、投光器、発電機、コードリール、牽引ロープ、AED、救急セット							